

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、レベル1注意とします。なお、レベル1注意の判定は、令和2年7月20日ぶりで、リスクレベル基準を改定した令和2年10月26日以降では初めてです。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし 感染者数
11月18日(木)～11月24日(水)	0名	0名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（11月19日発表）	今回（11月26日発表）
レベル2警戒 なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。	レベル1注意 なお、感染状況は先週と 大きな変化は見られない。

3 県民の皆様へのお願い

国内の感染状況は非常に低いレベルで安定していますが、次の感染拡大が起こる可能性は高いと考えられていることから、備えを進める必要があります。

本県では、国の示した「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」等に基づく入院・宿泊療養・自宅療養の各体制等について、11月28日に熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議による議論を経て定めることとしています。

県民の皆様には、引き続き基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いします。

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）11月26日】

1 熊本県における現状認識

本県の11月18日から11月24日までの新規感染者数は0人であることから、本県のリスクレベルはレベル1注意とする。なお、県内の全療養者数も0人の状況である。

国内の感染状況は非常に低いレベルで安定しているが、次の感染拡大に備える必要がある。本県では、国の示した「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」等に基づく入院・宿泊療養・自宅療養の各体制等について、11月28日に熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議による議論を経て定めることとしている。

県民の皆様には、引き続き基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

前回（11 / 19発表）	今回（11 / 26発表）
<p>レベル2警戒</p> <p>なお、感染状況は先週と大きな変化は見られない。</p>	<p>レベル1注意</p> <p>なお、感染状況は先週と大きな変化は見られない。</p>

[熊本県リスクレベル基準]

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警戒	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床利用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警戒	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖
レベル3 警戒	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

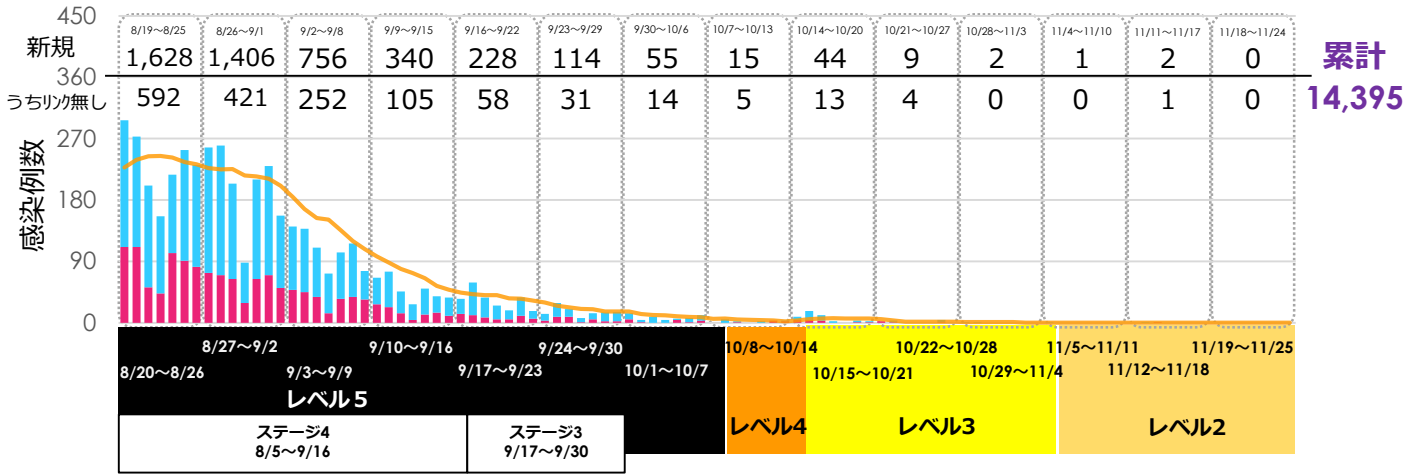
※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (11月25日現在)

- 熊本県の11月18日から11月24日までの新規感染者数は0人である。したがって、熊本県のリスクレベルはレベル1注意と判断することが妥当である。
- 国内の感染状況は安定しているが、北海道において新規感染者の確認が増加しており、これが感染拡大の兆しなのか、一過性のものかには注視が必要である。昨年も、感染拡大は北から起こったが、寒くなることでの換気不全が影響している可能性がある。デルタ株の流行以降、飛沫感染やエアロゾル感染の重要性が増している。特に冬季は空気が乾燥するほか、部屋の閉め切りが多くなることから、換気を重視した基本的感染防止対策を徹底していただくようお願いする。
- また、本県の第6波対策として、保健・医療提供体制を始めとした各体制を、11月28日に専門家会議において議論することとしている。今後の感染拡大がどのように起こるかの予測は困難だが、自宅・宿泊療養者の医療アクセスや、ワクチン3回目接種など、間違いなく重要となる課題について、しっかりと議論を行いたいと考えている。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（8/19～11/24）：確定日ベース】

■ 新規感染例数 ■ リンク不明感染例数 — 新規感染例数7日間平均



・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意

【保健所ごとの感染例の確認状況】

保健所名	これまで	11/18～11/24		保健所名	これまで	11/18～11/24	
		陽性者数	人口10万人※あたり			陽性者数	人口10万人※あたり
熊本市保健所	8,248	0	0.0	宇城保健所	685	0	0.0
有明保健所	1,331	0	0.0	八代保健所	747	0	0.0
山鹿保健所	399	0	0.0	水俣保健所	219	0	0.0
菊池保健所	1,386	0	0.0	人吉保健所	221	0	0.0
阿蘇保健所	267	0	0.0	天草保健所	222	0	0.0
御船保健所	670	0	0.0	計	14,395	0	0.0

※ 各保健所管内の人口は平成31年4月1日のものを使用

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の示す感染状況の指標】

	医療提供体制等の負荷				感染の状況			早期探知指標 新規陽性者数の前週今週比
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③検査陽性率 県内全検査 週移動平均	④新規陽性者数 週合計	⑤感染経路不明割合 直近一週間	
	入院医療		重症者用病床 確保病床使用率					
	確保病床使用率	入院率						
11月24日	0%	(0%)	0%	0人	0%	0人	0人(0%)	0
11月17日	0.2%	(50.0%)	1.8%	2人	0.08%	2人	1人(50.0%)	2.00
11月10日	0.3%	(50.0%)	1.8%	2人	0.03%	1人	0人(0%)	0.50
11月3日	0.5%	(50.0%)	1.8%	6人	0.1%	2人	0人(0%)	0.22
10月27日	1.7%	(61.1%)	3.6%	18人	0.3%	9人	4人(44.4%)	0.20
10月20日	3.0%	(42.2%)	1.8%	45人	1.0%	44人	13人(29.5%)	2.93
10月13日	2.8%	(42.5%)	7.1%	40人	0.4%	15人	5人(33.3%)	0.27

(参考) 旧ステージ分類の判断基準

	確保病床使用率	入院率※	重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	感染経路不明割合	新規陽性者数比 今週先週比が1.0を超える状況が継続する場合には注意が必要
ステージ4	50%以上	25%以下	50%以上	524人以上	10%以上	437人以上	50%以上	
ステージ3	20%以上	40%以下	20%以上	349人以上	5%以上	262人以上	50%以上	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階							
ステージ1	医療提供体制に特段の支障がない段階							

※ 療養者数が人口10万人あたり10人以上（174人）の場合に適用